



チクチクチクチク (はざま隆治)

は歌手・作曲家の多彩な才能をイメージする。こちらが中でも哀愁を帯びた「瀬戸の花嫁」は大好きだ。ご冥福を祈ります。(那覇市)

うさぎ

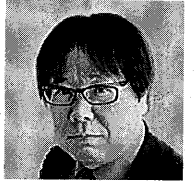
7月のうそつぱち大賞は次に決まりました。トリプルスルー
自衛隊法・公務員法
・公職選挙法イハン
高度なスルーパスです
ね
—サッカーファン
防衛相殿
(読谷村・長屋四郎)

26% (毎日新聞) となった。首相も行使できないも揺らぎだしたと。壁の連舫代表が野意を表明した。

線か

高められなかつた理由に挙げての再生は難しいは今大揺れの時

も「対米自主路線」の政治家も少なからずいる。明確な対米自主独立の旗を掲げた、非自民勢力(対米自主路線)の力の結集は必ずできる。争点はただ一つ、あらゆる層からこの対米自主路線派をいかに結集するかである。対立軸は明確に「自民(対米従属路線)か、非自民(対米自主路線)か」である。それは「新自由主義」「市場原理主義」との決別である。モノ、カネが万端で経済成長や富の蓄積が自己目的化したイデオロギーとの決別である。平たく言えば、「世界一企業が活躍しやすい国」から「女性が安心して出産、子育てができる」(南城市、70歳)



東恩納 厚

東恩納組 代表取締役会長

人生一切皆苦と、釈迦は言う。人は、生まれ老いて病になり死んで行く。人生は、会いたくない人に出逢い、愛する人と別れ、求める物は得られず、際限無く満たされず苦なりと、釈迦は言う。
私は、全てを常理と認め、しっかりと生きて老いて死んで行きたい。
閑話休題、企業とは、それは、私物では無く社会の公器である。且つ、人や社会に役立つものでなければならぬ。何かでは無く何を為すべきかが、企業の存在理由である。それを示して、人や社会に貢献するのが本来の姿である。
必要とされるものは存在する価値があり、必要とされなければ消えていくだけである。
私は、弊社の存在理由を作ることから始めた。一番に社会貢献を目的にした。二番に、創っては壊す建設業から脱却し自然との共生を唱えた。三番に、顧客第一主義の集団で在りたいと、

南風

企業とは ③

人に尽くすことを誓った。然し、社会を構成する最小の単位はひとりの人である。然るに、先ず人に尽くす存在で在りたいと考えを改めた。そして、自然を破壊せず、社会に貢献することを現在の企業理念としたのである。
建築に思いを寄せたとき、建築物は、内包する人を守る器である、ということが必要最低条件である。そして、心地よくなければいけない。また、美しくなければ存続しない。人を守り、心地よく、美しい確かな品質の建物を造ることが、建築理念である。
夢がある。多くの利益を出して、社員やその家族を物心共に豊かにし、大きく社会に貢献した日本国を代表する企業に成る。
理念と夢を北の空に置き、今日も船を進める。

我が行く道に荊多し
されど生命の道はひとつ
この外に道なし
この道を行く
実篤

投稿規定 声・ネットワーク400字、論壇1000字、ティータイム600字。住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記。〒900-8525 那覇市天久905。原稿は琉球新報社オピニオン係に郵送。ファクス098(865)5234、メールkoe@ryukyushimpo.co.jp 問い合わせは同係 ☎098(865)5175。他紙との二重投稿は厳禁。掲載の可否についての問い合わせには応じかねます。「うそつぱち」は社会部ファクス098(865)5222。